

トヨタ純正 オートアラーム

取付要領書

本書はオートアラームの取り付け要領について記載してあります。取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。別冊の「取扱書」は、必ずお客様にお渡しください。

品 番

品 番	オートアラームセット	ガソリン車 (2WD 車)	① 08625-52200
		ガソリン車 (4WD 車)、HEV 車	② 08625-52220

構成部品

No.	品 名	品 番	個数	
			①	②
1	セルフパワーサイレン	0862A-00010	1	
2	両面テープ (60 × 50)		1	
3	ハーネス	—	1	
4	フードロック ASSY	53510-52760	-	1
5	クランプ	—	10	
6	プロテクターテープ (90 × 40)	—	1	
7	取扱書	—	1	
8 (注)	セキュリティラベル	08586-00060	2	

(注)セキュリティラベルはお客様に貼っていただくため、必ずお客様にお渡しください。
貼付位置については、取扱書を参照してください。

取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

- ▲ 警告** … 警告事項を守らないと生命の危機、または重大な傷害につながる恐れがあることを記載しています
- ▲ 注意** … 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしったりする等の恐れがあることを記載しています
- 注意** … 注意事項を守らないと車両や装備品が破損する等の恐れがあることを記載しています
- 🔊 アドバイス** … スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

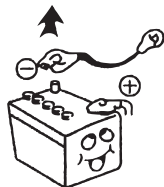
！ 注意

バッテリー接続中に作業を行う場合は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないよう充分注意してください。

- (1) 車を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪留めを確実に行ってください。
- (2) 下回り作業中は、安全に配慮し、エンジン始動及び乗車は絶対しないでください。
- (3) 通常のキーによるエンジン始動・停止、電気式ドアロックが正常に作動することを確認してください。
- (4) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時に間違いのないよう配慮してください。また、車両及び取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。
- (5) バッテリー復元作業終了後、車両機能部品に初期化が必要な部品がありますので、作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

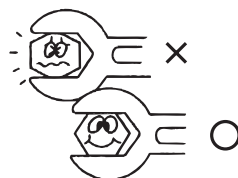
取り付ける前に

- バッテリーの（－）側ケーブルをはずす

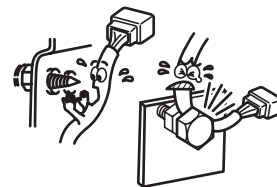


部品の取り付けは

- 寸法にあった工具を使う

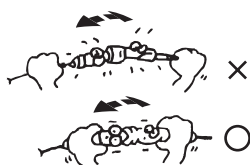


- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する



配線は

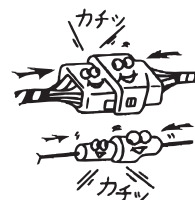
- コネクターは本体を持ってはずす



- 車両ハーネスとまとめたり、クランプを使用して固定する



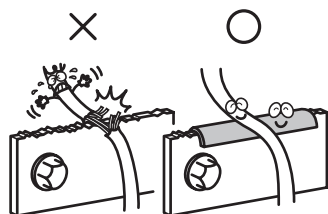
- コネクターは確実に接続する



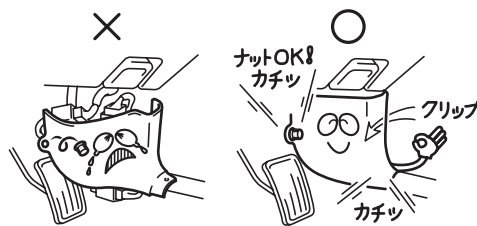
- 無理に引っ張らない



- バリ・エッジ部は保護シート等で保護する

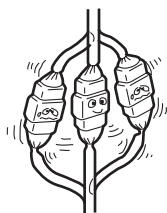


- 車両部品が確実に復元できるようハーネスを処理する



クランプは

- クランプは締め過ぎない
- 余った部分をカットする
- カットした端末が他のハーネスと接触しないように注意する
- コネクターを異音がないようにクランプする



取り付け完了後は

- 取りはずした車両部品は確実に復元する



取り付けに必要な工具等

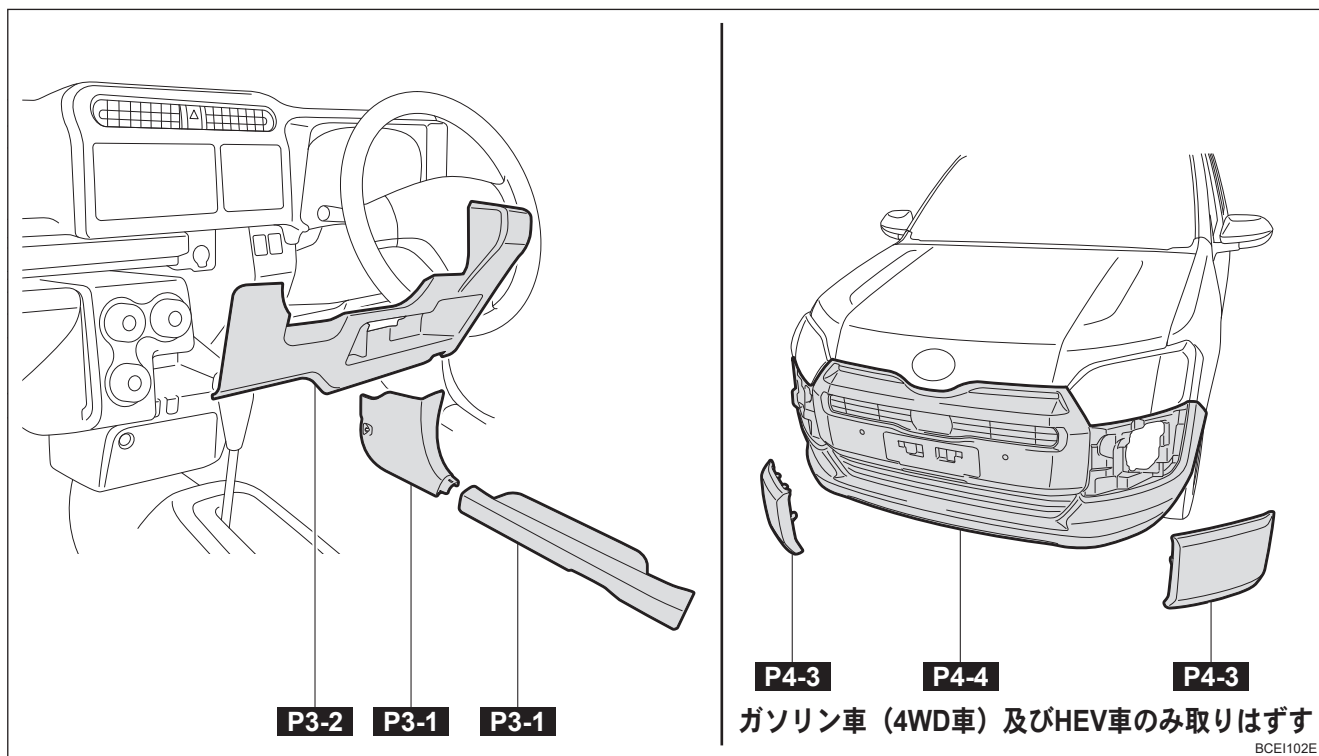
- ・一般工具、各種リムーバー、ニッパー、ハサミ、ヤスリ、保護テープ、保護メガネ、ウエス、トヨタエレクトリカルテスター、脱脂剤等【イソプロピルアルコール (IPA) 純度 100% 推奨】、トルクレンチ、GTS+
- ・参照マニュアル・・・修理書、配線図集等

始業点検

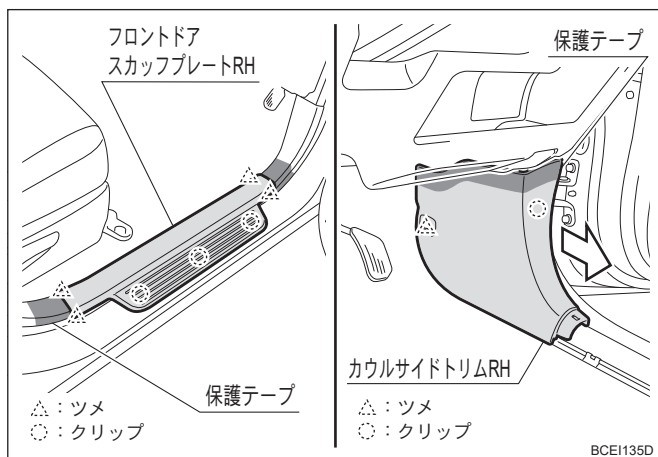
ドアロック・パワーウインド・ハザード等、電気系統の作動確認を実施してください。

車両部品の取りはずし

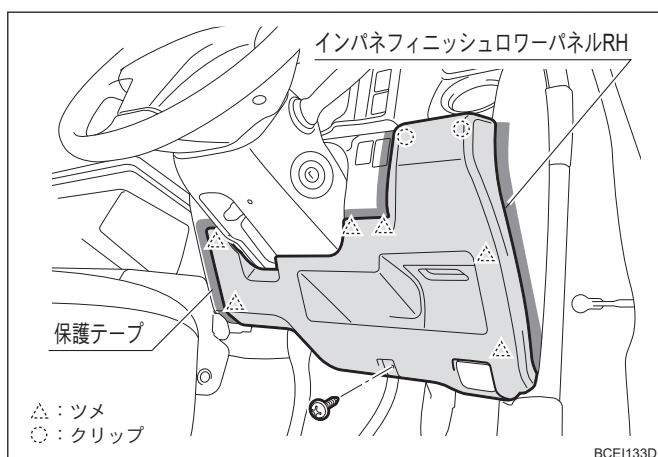
詳細は修理書を参照してください。



車両部品の取りはずし要領

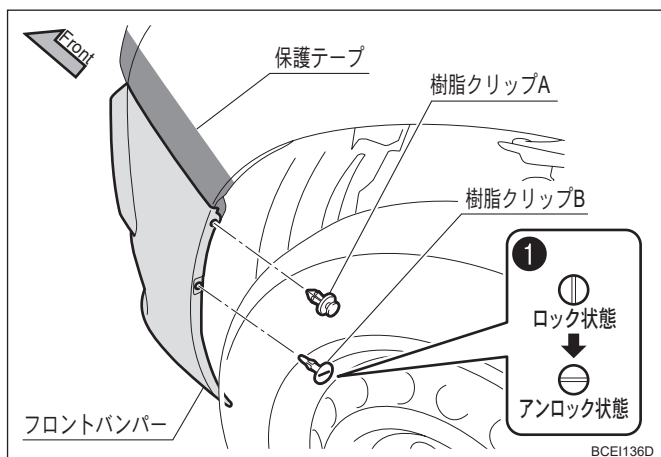


- P3-1** (1) 保護テープを貼り付ける。
 (2) ツメ（4箇所）及びクリップ（3箇所）の嵌合をはずし、フロントドアスカッフプレートRHを取りはずす。
 (3) ツメ（1箇所）及びクリップ（1箇所）の嵌合を矢印方向にはずし、カウルサイドトリムRHを取りはずす。



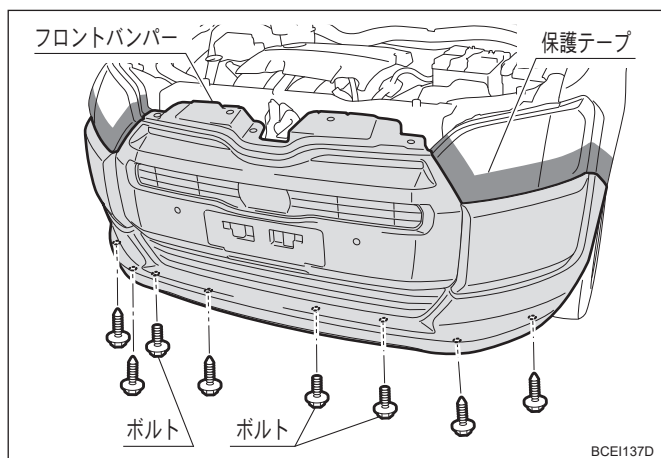
- P3-2** (1) 保護テープを貼り付ける。
 (2) スクリュー（1本）をはずす。
 (3) ツメ（6箇所）及びクリップ（2箇所）の嵌合をはずし、インパネフィニッシュローワーパネルRHを取りはずす。

ガソリン車（2WD車）⇒ P.5 "配線前準備" へ

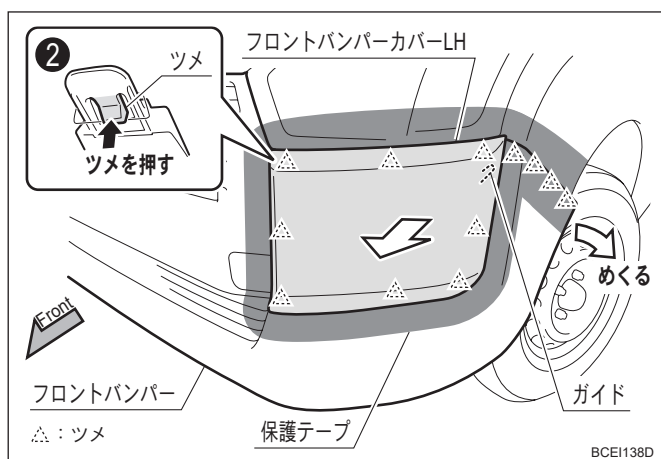


<ガソリン車（4WD車）、HEV車>

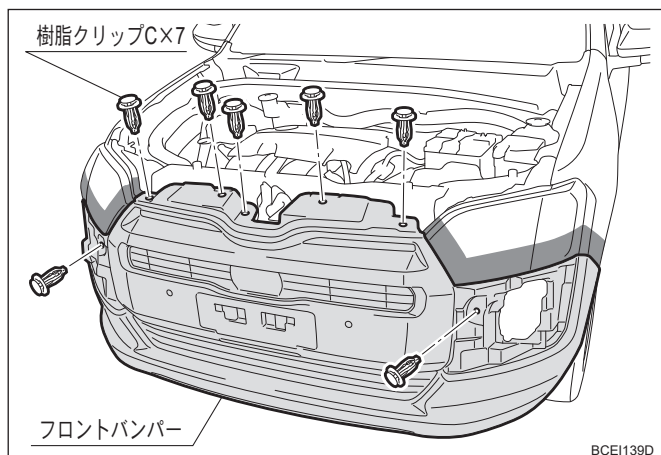
- P4-1** (1) 保護テープを貼り付ける。
 (2) ホイールハウス LH（及び RH）内の樹脂クリップ A（1 個）をはずす。
 (3) ① に従い、ホイールハウス LH（及び RH）内の樹脂クリップ B（1 個）をはずす。



- P4-2** (1) 保護テープを貼り付ける。
 (2) フロントバンパー下部のボルト（3 本）及びスクリュー（5 本）をはずす。

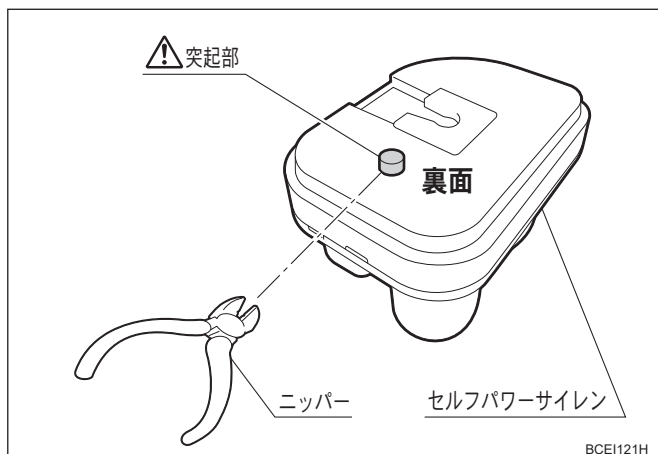


- P4-3** (1) 保護テープを貼り付ける。
 (2) フロントバンパー LH 側（及び RH 側）のツメ（4 箇所）の嵌合をはずし、フロントバンパーを少しめくる。
 (3) ② に従い、フロントバンパー内側からツメ（8 箇所）の嵌合を矢印方向にはずし、フロントバンパーカバー LH（及び RH）を取りはずす。



- P4-4** (1) 樹脂クリップ C（7 個）をはずし、フロントバンパーを取りはずす。

配線前準備



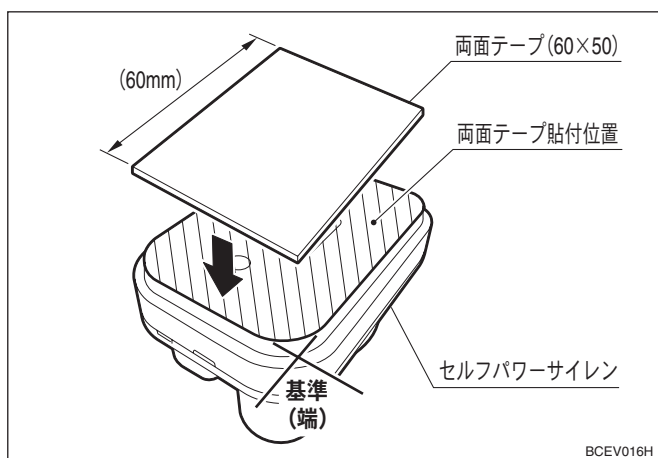
P5-1 セルフパワーサイレン

- (1) セルフパワーサイレン裏面の突起部をニッパー等で切断する。

⚠ 注意

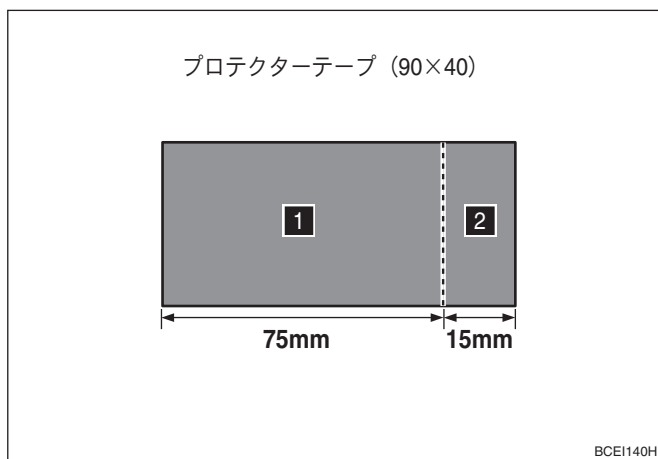
突起部を切断する際は、必ず保護メガネを着用してください。

- (2) バリ・エッジをヤスリで取り除く。



P5-2

- (1) セルフパワーサイレンを脱脂剤等で洗浄する。
- (2) 両面テープ (60 × 50) をセルフパワーサイレンに貼り付ける。

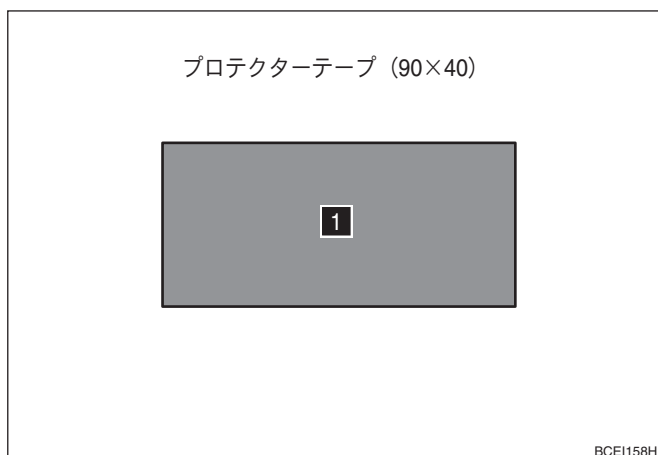


<HEV車>

P5-3 テープカット

- (1) プロテクターテープ (90 × 40) をカットする。

1	P6-1	ハーネス保護用
2	P12-1	交換用フードロック ASSY ハーネス保護用



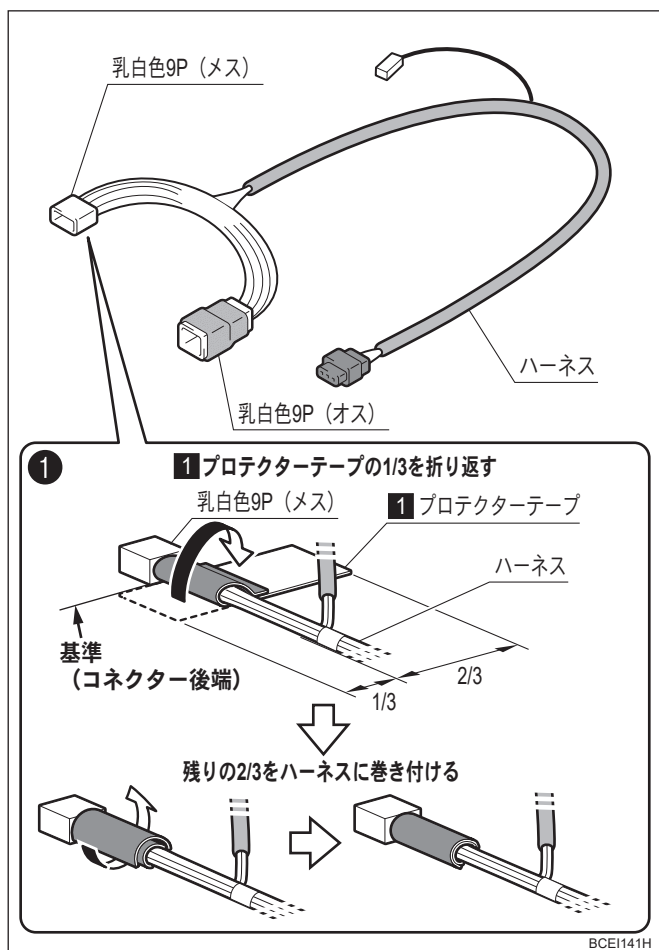
<ガソリン車>

P5-4

👉 アドバイス

テープカット作業は不要です。

1	P6-1	ハーネス保護用
---	------	---------

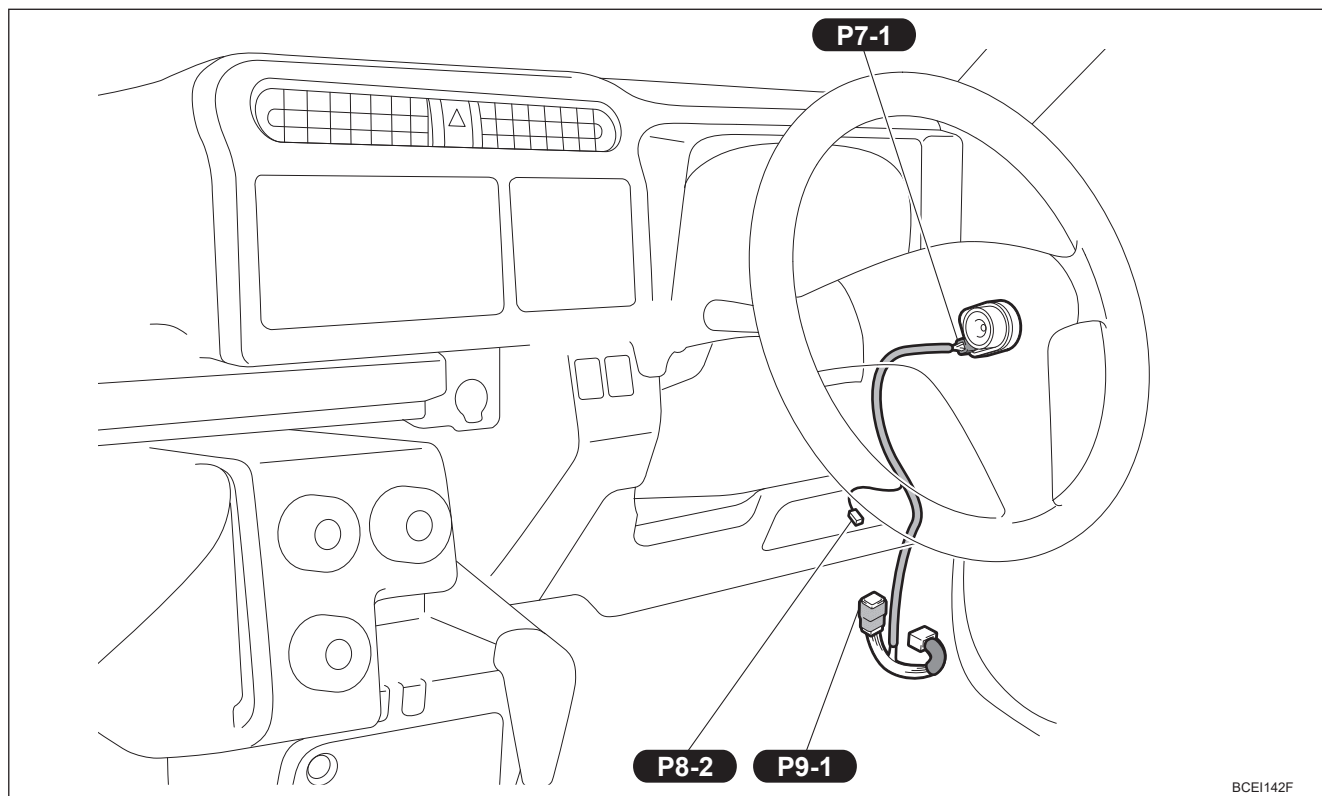


<共通>

P6-1 ハーネス

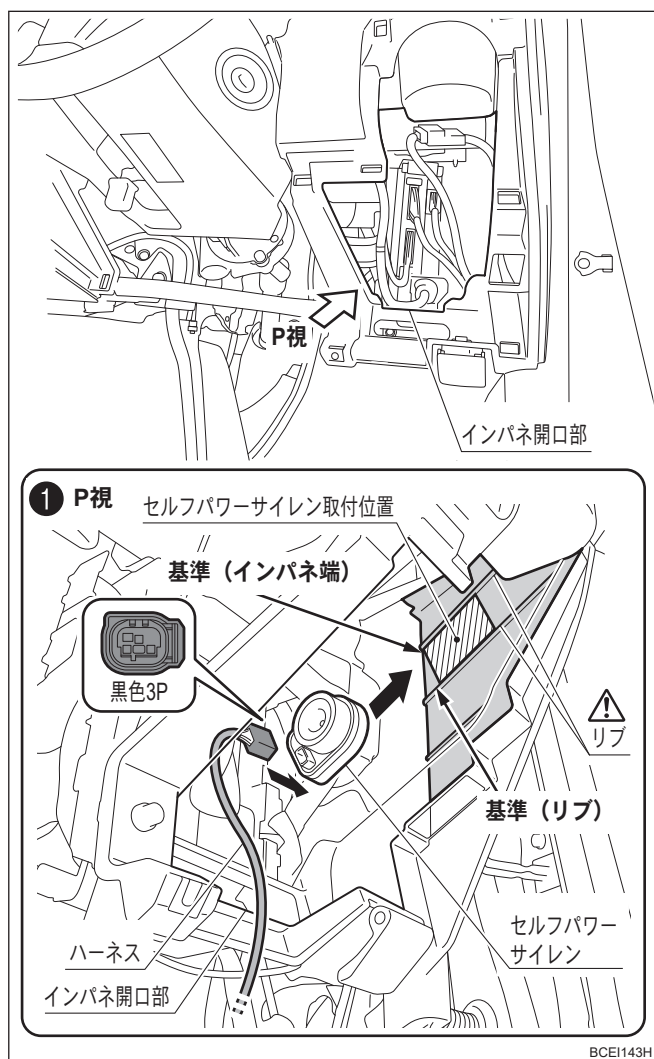
- (1) ① に従い、**1** プロテクターテープをハーネスに巻き付ける。

配線概要



BCEI142F

車室内の配線



BCEI143H

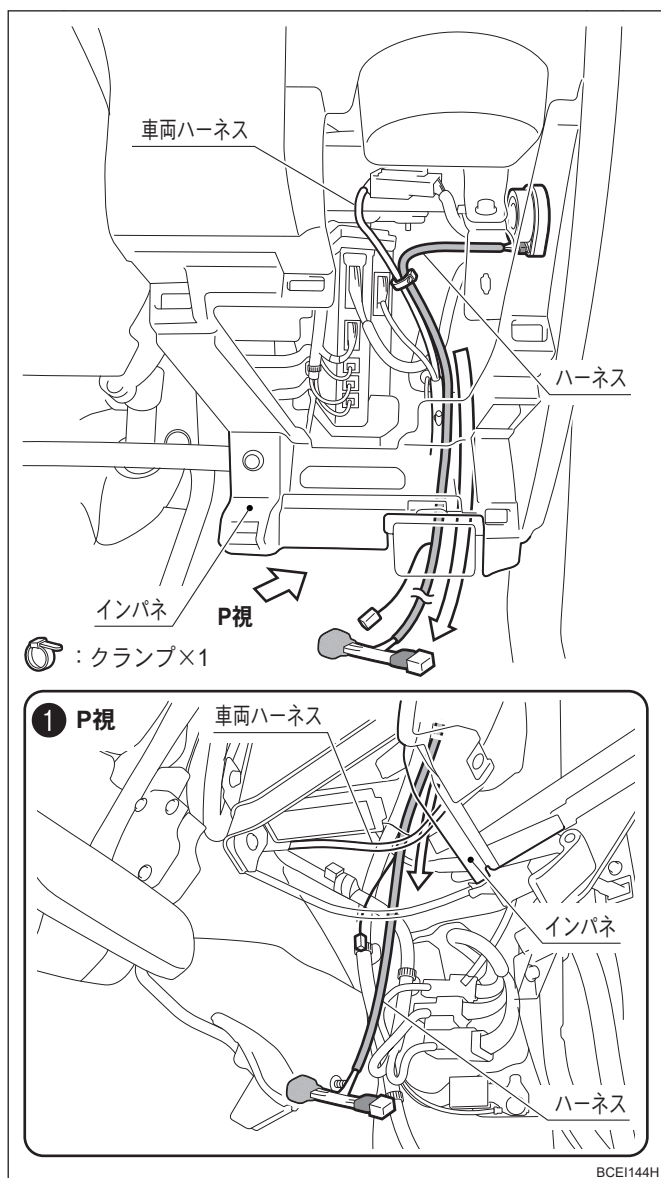
運転席の配線

P7-1 セルフパワーサイレンの取り付け

- (1) ハーネスの黒色 3P コネクターをセルフパワーサイレンに接続する。
- (2) ① に従い、セルフパワーサイレン取付位置 (斜線部) を脱脂剤等で洗浄する。
- (3) ① に従い、セルフパワーサイレンをインパネに取り付ける。

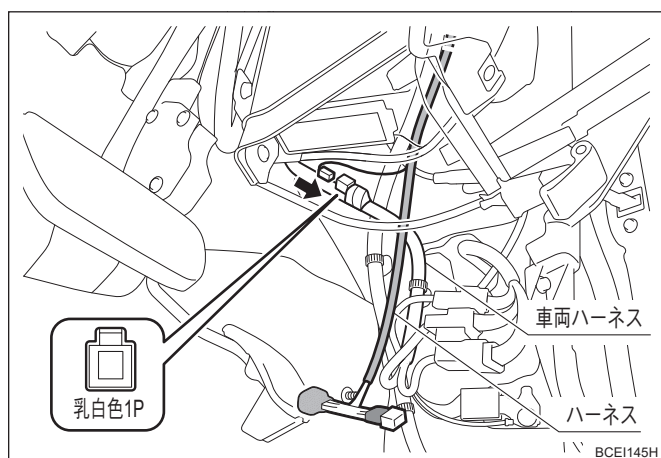
注意

セルフパワーサイレン脱落の恐れがあるため、インパネのリブに乗り上げないように、貼り付けてください。



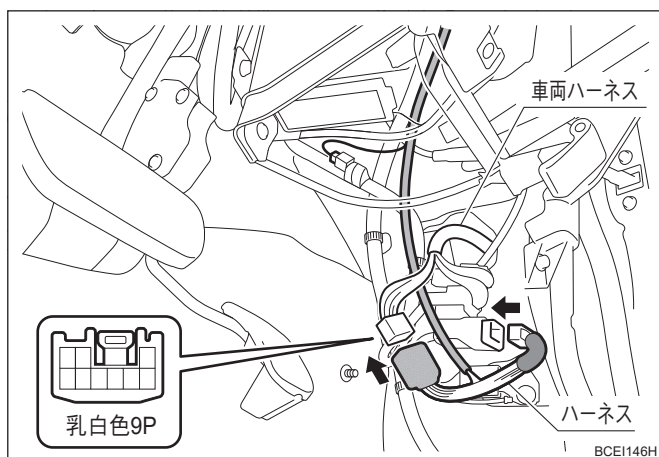
P8-1 ハーネスの固定

- (1) ハーネスをインパネの車両前方側に通す。
- (2) ① に従い、車両ハーネスの車両右側に通す。
- (3) ハーネスを車両ハーネスに固定する。



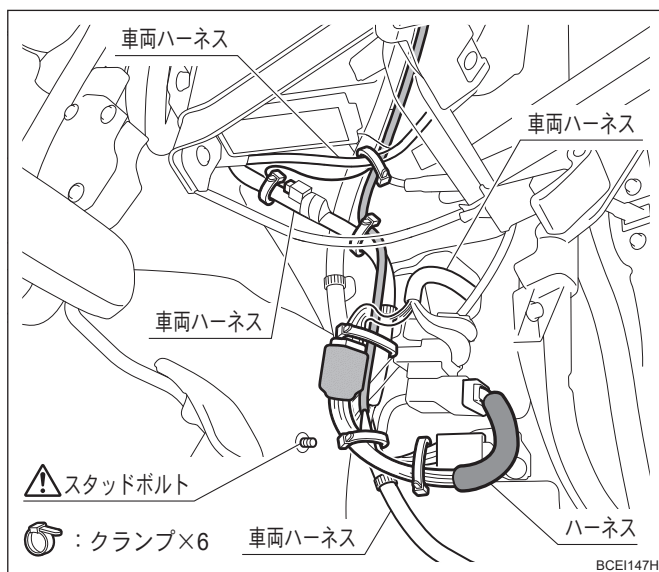
P8-2 乳白色 1P オプションコネクタの配線

- (1) 車両ハーネスにテーピングされている乳白色 1P オプションコネクタにハーネスを接続する。



P9-1 右カウルワイヤ to ワイヤの配線

- (1) 右カウルワイヤ to ワイヤ乳白色 9P コネクターの嵌合をはずし、間にハーネスを接続する。



P9-2 ハーネスの固定

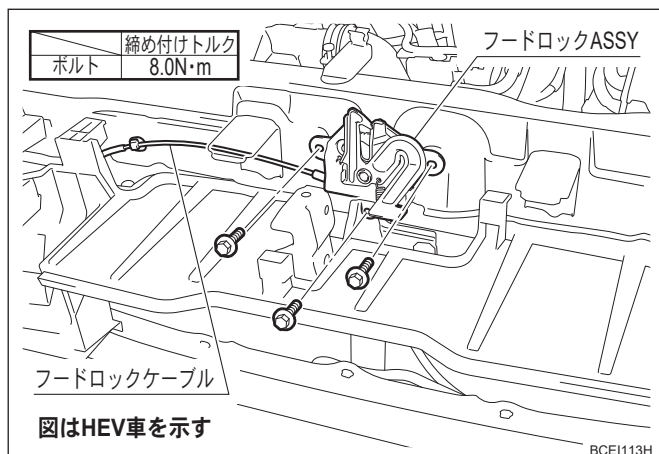
- (1) ハーネスを車両ハーネスに固定する。

注意

ハーネスがスタッドボルトと干渉しないよう、スタッドボルトの真横で固定してください。

ガソリン車 (2WD 車) ⇒ P.13 " 作動確認 " へ

エンジンルームの配線



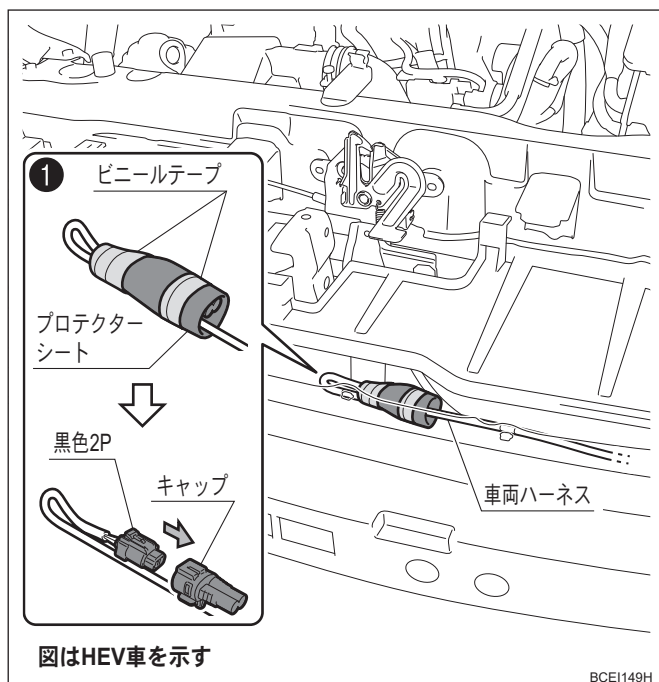
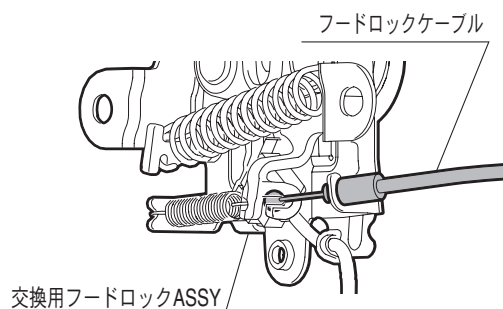
<ガソリン車（4WD車）、HEV車>

P10-1 フードロック ASSY の交換

- (1) 車両フードロック ASSY のボルト（3 本）をはずす。
- (2) フードロックケーブルをはずし、車両フードロック ASSY を取りはずす。
- (3) フードロックケーブルを交換用フードロック ASSY に取り付け、締め付けトルク表に従いボルト（3 本）で固定する。

👉 アドバイス

フードロックケーブルを取り付けていない状態でフードを閉めると、ボンネットが開けられなくなるため、フードロックケーブルは確実に取り付けてください。



P10-2 黒色 2P オプションコネクタの配線

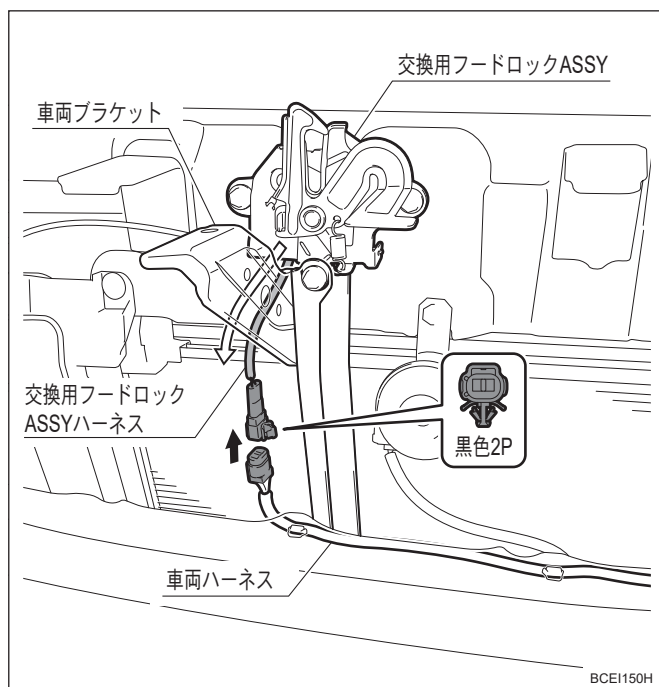
- (1) ① に従い、車両ハーネスにテーピングされている黒色 2P オプションコネクタを取り出し、キャップを取りはずす。

👉 アドバイス

取りはずしたキャップは使用しません。

HEV 車

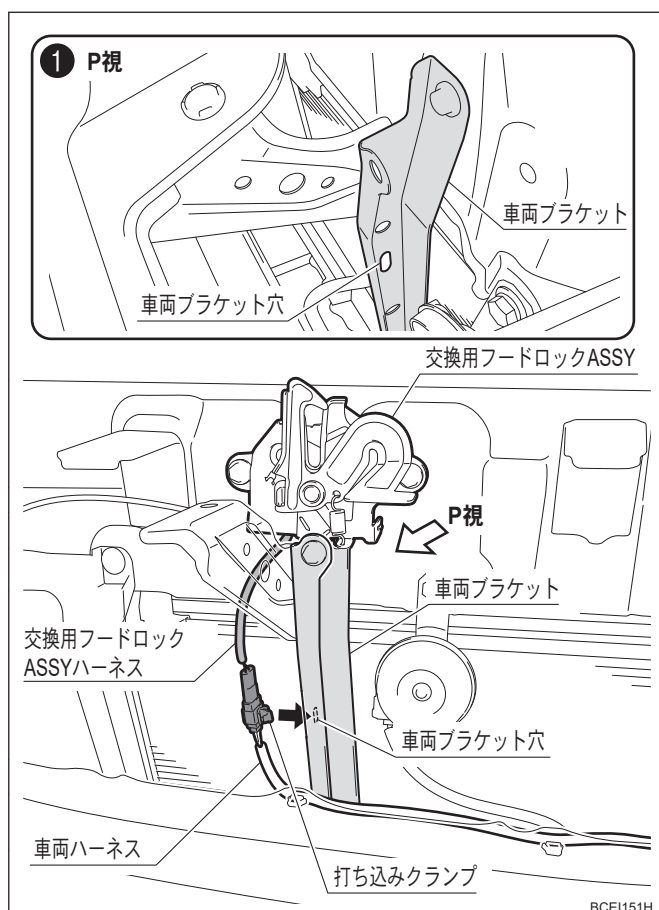
⇒ P12-1" 黒色 2P オプションコネクタの配線 " へ



<ガソリン車 (4WD車)>

P11-1 黒色 2P オプションコネクタの配線

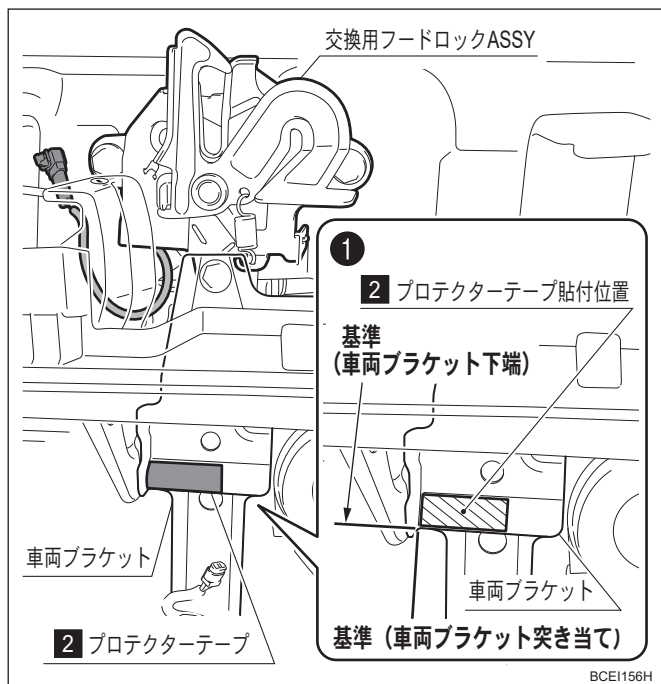
- (1) 交換用フードロック ASSY ハーネスを車両ブラケットの左側に通す。
- (2) 黒色 2P オプションコネクタを交換用フードロック ASSY ハーネスに接続する。



P11-2 ハーネスの固定

- (1) ① に従い、交換用フードロック ASSY ハーネスの打ち込みクランプを車両ブラケット穴に固定する。

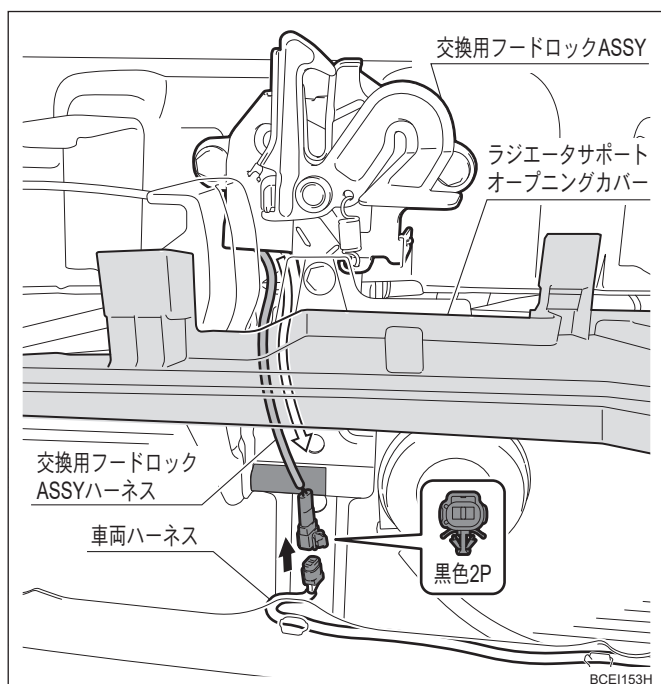
P.13 " 作動確認 " へ



<HEV車>

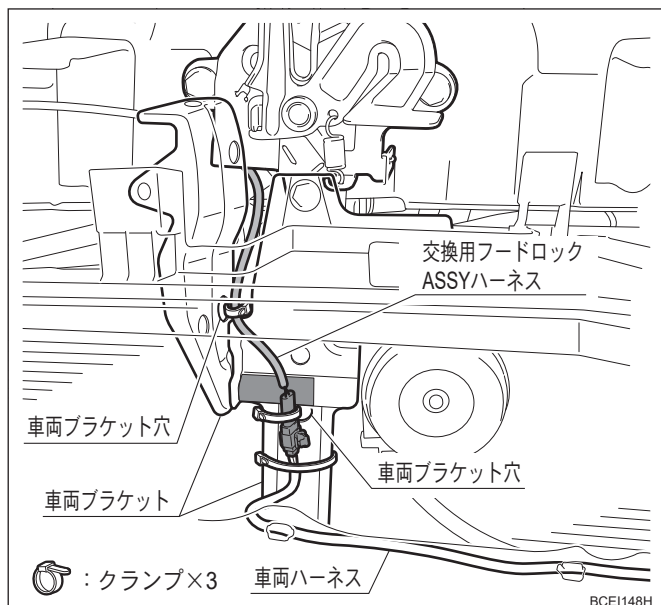
P12-1 黒色 2P オプションコネクターの配線

- (1) ① に従い、② プロテクターテープ貼付位置 (斜線部) を脱脂剤等で洗浄する。
- (2) ① に従い、② プロテクターテープを車両ブラケットに貼り付ける。



P12-2

- (1) 交換用フードロック ASSY ハーネスをラジエータサポートオープニングカバーの前方に通す。
- (2) 黒色 2P オプションコネク터를交換用フードロック ASSY ハーネスに接続する。



P12-3 ハーネスの固定

- (1) 交換用フードロック ASSY ハーネス及び車両ハーネスを車両ブラケットに固定する。

作動確認

👉 アドバイス

作動確認の前に、配線や取り付けに異常がないことを確認してください。

セキュリティ機能の切り替え



セキュリティ機能の切り替えが未実施の場合、オートアラームが作動しません

❶

バッテリーの（－）側ケーブルを取り付けてください。

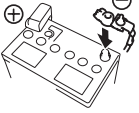
❷

VC 開発部発行『トヨタ純正（用品）オートアラームサービス資料』に従い、作業してください。

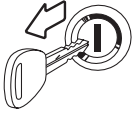
作動確認

以下の手順に従い作動確認を行ってください。

バッテリー接続



キー抜き



全ドア閉
〔・半ドアウォーニング消灯確認
・運転席ウインドガラス全開〕



ボンネット閉



ルームランプ『DOOR』





No.	作動確認項目	異常時の点検箇所
1	車両標準ワイヤレスドアロックでロックし、30秒以上経過後、ボンネットを開けてください。 車両ホーン及びセルフパワーサイレンで警報しますか？ （アンロックまたはエンジン始動で警報停止）	ガソリン車（2WD車） P7-1 P8-2 P9-1 ガソリン車（4WD車） P7-1 P8-2 P9-1 P11-1 HEV車 P7-1 P8-2 P9-1 P12-2

復元作業

「取り付け後の確認」完了後、下記の点に注意し、取りはずした車両部品を復元してください。

注意

- ① 車両及び用品ハーネスが噛み込んでいないこと
- ② ネジ類の締め忘れ、クリップ等の半嵌合がないこと
- ③ コネクター類の嵌め忘れ、または半嵌合のないこと
- ④ 車両部品にキズを付けないこと
- ⑤ ドアロック・パワーウインド・ハザード等、電気系統に異常のないこと

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。

※車両システムの初期化には、GTS+等のツールが必要な場合があります。

配線図

